



塚越小だより



令和8年度 No.6
令和8年9月1日
蕨市立塚越小学校
048-442-2218

「歳月人を待たず」

校長 竹越 典子

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。朝、元気に登校してきた子供たちの笑顔や、「おはようございます!」という元気な声を聞き、子供たちが学校に戻ってきたことを、とても嬉しく思いました。

1学期の終業式の日、子供たちと「大きなけがや事故なく、2学期に元気に会いましょう。」と約束をしました。今日、こうして一人一人の元気な顔を見ることができ、本当に嬉しく思っています。保護者・地域の皆様にも、子供たちの安全を見守っていただき、ありがとうございました。

さて、皆さんは、どのような夏休みを過ごしたでしょうか。夏休み前に立てた計画を守り、やりたいことに挑戦したり、家族との時間を大切にしたりしながら、充実した45日間を過ごした人もいます。一方で、「なんとなく時間が過ぎてしまったな。」と感じている人もいるかもしれません。どのような夏休みであっても、時間は誰にでも平等に流れ、45日間は終わりました。

今日の始業式で、子供たちに「歳月人を待たず」という言葉を紹介しました。この言葉には、人の都合などを考えずに、月日や時間はどんどん過ぎ去っていく、という意味があります。過ぎてしまった時間は、いくら後悔しても元には戻りません。「もっと勉強しておけばよかったな。」「もう少し早起きをして、一日をしっかりと楽しめばよかったな。」と思っても、時間を戻すことはできません。まさしく、「歳月人を待たず」ということです。

今日から始まる2学期には、通常の授業のみならず、運動会や音楽会、校外学習、6年生の修学旅行など、大きな行事がたくさんあります。行事が終わったときに、「運動会を成功させるために、一生懸命頑張ったよ。」「なんだか怠けたいなと思うこともあったけれど、しっかり取り組み、楽しめたな。」という充実感を仲間とともに、ぜひ味わってほしいです。12月の終業式の日、「自分は頑張った!」と自信をもって言えるよう、一日一日を大切に生活してほしいと願っています。

また、夏休み中、教職員は子供たちの学びをよりよいものにするため、様々な研修を重ねました。11月25日に行われる、蕨市教育委員会研究委嘱校研究発表では、「自己効力感をもち、主体的に活動する塚小っ子の育成」をテーマに、研究の成果を発表します。子供たちが「ここにいていい」「自分は自分でいい」「自分ならできる」「やってみよう」と自分自身を信じ、主体的に行動できるよう、2学期も引き続き、教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様には、2学期も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

